

# 北海道こども発達研究センター 自己評価集計結果

公表：令和8年2月27日

事業所名：北海道こども発達研究センター樽川

回収率：100%

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見	ご意見に対する返答
①	利用定員は活動スペースとの関係において適切ですか。	14	0	0	1. 明らかな明記はないと思われませんが、人数配置上、15名に近い場合は部屋を分ける等活動スペースに対しても対応がされていると思います。 2. 定員マックスで活動した際でも活動が可能	定員に近い人数の場合でも、安全で活動しやすい環境を維持できるよう、状況に応じたスペース確保に努めてまいります。
②	職員の配置数は適切ですか。	14	0	0	1. 児童15人に対して主・副・行3人で回す体制が形になってきていると思う。	今後も適切な配置を維持し、より良い支援体制づくりに努めてまいります。
③	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮は適切ですか	14	0	0	1. 手すり等も必要な場所に必要な数があり適切だと思います。 2. 玄関や各所手すりなど考えられている	手すりの設置など、必要な場所へのバリアフリー配慮が適切に行われているとの評価をいただき安心しました。今後も安全に配慮した環境づくりを継続してまいります。
④	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画していますか。	14	0	0	1. 支援計画担当は変更体の職員も参画。指導員やセラピストの会議も毎週行われている	支援計画担当だけでなく、指導員、セラピストが日々の会議や話し合いを通して業務改善に関わっていることを心強く感じています。今後も職員全体で取り組みを進めていきます
⑤	保護者等向け評価表を活用することにより、アンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげていますか。	14	0	0	1. 毎年アンケートを実施している	毎年アンケートを実施している

⑥	この自己評価の結果をホームページ等で公開していますか。	14	0	0		
⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保していますか。	13	0	1	1.家庭の事情で時間をとりづらい状況でしたが、次年度からは一人親元を離れますので、確保出来るよう努力致します。 2.所内・所外ともに機会の確保がされていると思います。 3.毎月研修参加の機会がある	所内外の研修機会が確保されていること、また個々の事情に配慮しながら開催しています。今後も職員の学びを支えられる環境づくりを進めていきます。
⑧	評価を適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、支援計画を作成していますか。	14	0	0	1.評価とデマンドをよく確認し支援計画を作成しています。 2.担当者はいるが、会議もあるので複数の視点で見てより良い支援計画の作成に努めている	評価を踏まえた支援計画づくりに日頃から取り組んでいただいていることに感謝しています。今後も多角的な視点を活かしながら、より適切な計画作成を進めていきます。
⑨	こどもの適応行動の状況をはかるために標準化された評価表を使用していますか。	14	0	0	1.複数の評価がある	標準化された評価表を活用しながら、子どもたちを丁寧に把握する取り組みが進んでいると感じています。今後も適切な評価に努めていきます。
⑩	活動計画の立案をチームで行っていますか。	14	0	0	1. 指導員、セラピストが毎回ペアを組み行っている	日頃からチームで活動計画づくりに取り組んでいただいていることに感謝しています。これからも協力し合える体制を大切にしていきます。
⑪	活動内容が固定化しないよう工夫していますか。	14	0	0	1.全体活動で使用する道具の組み合わせや使い方の工夫で活動内容の難易度や目的を変えている 2.子ども一人一人の状況に合わせ、固定化しないよう担当者かんで話し合いのもと活動内容を決定している	日々、活動内容に工夫を凝らしながら取り組んでいただいていることに感謝しています。これからも柔軟な発想を大切に、子どもたちに合った活動づくりを進めていきます。

⑫	こどもの状況に応じて個別訓練と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成していますか。	14	0	0	1. 担当者間話し合いのもと行っている	今後も子どもの状況に応じた柔軟な支援を続けていきます。
⑬	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか。	13	0	1	1. 毎朝確認している	今後も毎朝の打ち合わせを大切に、連携を深めていきます。
⑭	保支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援を振り返り、気付いた点等を共有していますか。	12	0	2	1.共有できない日も有りますので、今後努力いたします。 2.その日のうちに行えないこともある	共有が難しい日の原因を見直し、できる限り当日中の振り返りを徹底してまいります。
⑮	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか。	14	0	0	1.活動記録が今の形になって、短期目標へどのようにアプローチしたかが見やすくなった。 2.支援記録の記入の仕方についての研修を踏まえた記載に努めている	記録の取り方を見直し、今後も正確な記録を徹底して支援の検証と改善につなげていきます。
⑯	定期的なモニタリングを行い、支援計画見直しの必要性について判断していますか。	14	0	0	1. 半年ごとに実施	定期的なモニタリングを継続し、必要に応じて計画の見直しを確実に進めていきます。
⑰	ガイドライン総則の基本活動5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」を複数組み合わせる支援を行っていますか。	14	0	0	1. 毎回実施している	複数領域を組み合わせる支援を継続し、より質の高い取り組みにつなげていきます。
⑱	サービス担当者会議にそのこどもの状況に精通した職員が参画していますか。	14	0	0	1. 十分な準備のもと参加している	指導員とセラピストのペア体制や OJT を活かし、十分な準備のもと会議に参加できるよう取り組んでいきます。
⑲	園・学校との情報共有を適切に行っていますか。	14	0	0	1. 関係機関連携を適切に行っている	関係機関との連携を丁寧に行い、適切な情報共有を続けていきます。
⑳	児童発達支援センター等の専門機関や各関係機関との間で支援内容等の情報共有と相互理解に努めていますか。	14	0	0	1. 情報共有を保護者の許可のもと行っている	保護者の許可を得たうえで得た情報は、支援内容の調整や計画の改善に活かしていきます。

⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのないこどもと活動する機会がありますか。	14	0	0	1.日常的な機会があるわけではないが、何かのイベントの時は園に訪問する機会があります。 2.近隣園での子ども動物園へ参加	イベント時の交流機会を大切にし、今後子どもたちが地域の園児と関われる場をできる限り広げていきます。
㉑	自立支援協議会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加していますか。	14	0	0	1. 交代で職員が参加している	職員が交代で参加し、地域との連携にしっかり貢献できるよう取り組んでいきます。
㉒	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか。	14	0	0	1.LINEでのやり取り、半年一回の面談、送迎時のやりとり等機会が多いと考えている	LINEでのやり取りや面談、送迎時など日頃から多くの機会を通して保護者と状況を共有できていると感じています。今後もこうした対話を大切にし、共通理解を深めていきます。
㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援を行っていますか。	14	0	0	1.必要に応じて実施している。 2.間接的ではあるが面談やライン等で助言等行う機会がある	面談やLINEでの助言も活かしながら、保護者の対応力向上につながる関わりを今後も続けていきます。
㉔	運営規定、利用者負担について丁寧な説明を行っていますか。	14	0	0	1. 契約時丁寧に行っている	契約時に運営規定や利用者負担について丁寧に説明することを今後も徹底していきます。
㉕	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか。	14	0	0	1. 職員間で共有し、助言等行っている	日々の相談内容は職員間で共有し、適切な助言につなげられるよう今後も取り組んでいきます。
㉖	こどもや保護者から相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、迅速かつ適切に対応していますか。	14	0	0	1.LINE、電話、送迎時等また面談などで適宜話し合うことができる	LINE・電話・送迎時・面談など、日頃から相談できる体制を整えており、今後もこうした機会を通して迅速かつ適切に対応できるよう努めていきます。
㉗	定期的にHPやSNS等で、活動内容や行事等の情報をこどもや保護者に対して発信していますか。	14	0	0	1.ホームページに活動の様子等を毎月記載している	毎月活動の様子を発信しており、今後も継続して情報をわかりやすく届けられるよう取り組んでいきます。

②9	個人情報の取扱いに十分注意していますか。	14	0	0		
③0	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか。	14	0	0	1.評価の上意思疎通や情報伝達の方法を書くご家庭において工夫している	特性や評価結果に応じて、写真カード・視覚支援・ジェスチャー・キーワードの統一など、理解しやすい方法を選んで関わるよう工夫しています。ご家庭の状況に合わせた伝え方を心がけています。
③1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を実施していますか	14	0	0	1.策定周知、訓練実施ともに行っている	緊急時対応・防犯・感染症対応の各マニュアルは策定し、職員・保護者への周知を行っています。また、発生を想定した訓練も定期的の実施しており、今後も安全確保のための取り組みを継続していきます。
③2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施していますか。	14	0	0	1.年2回程度行っている	避難訓練は年2回程度実施しており、今後も非常災害に備えた取り組みを継続していきます。
③3	事前に、服薬やてんかん発作等のこどもの状況を確認していますか。	14	0	0	1.当該時の対応法等シート作成し、利用日には見やすい場所に掲示している	個別の健康状況については、対応方法をまとめたシートを作成し、利用日には職員がすぐ確認できるよう見やすい場所に掲示しています。今後も安全に配慮した支援が行えるよう取り組んでいきます。
③4	食物アレルギーのあるこどもについて、必要に応じて医師の診断書に基づく対応がされていますか。	13	0	1	1.ご家庭確認の上対処している	食物アレルギーへの対応については、ご家庭に確認した内容をもとに必要な配慮を行っています。今後も安全に配慮しながら適切な対応を続けていきます。
③5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか。	14	0	0	1.インシデントアクシデントレポートを作成している	事業所内で共有することで、ヒヤリハット事例の振り返りと再発防止に役立てています。

③⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか。	14	0	0	1. 年 1 回、また新入社員に都度研修を行っている	虐待防止に向けては、年 1 回の研修に加え、新入職員には入職時に都度研修を実施しています。今後も職員全体の意識向上と適切な対応力の維持に努めていきます。
③⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで、支援計画に記載していますか。	14	0	0	1. 支援計画に当該児童については記載を行っている	やむを得ず身体拘束が必要となる可能性があることについては、支援計画にその内容を記載し、保護者と共有しています。

特定非営利活動法人 北海道こども発達研究センター樽川